



2018年3月期通期
決算説明資料
2018年5月21日

証券コード：9324 <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

1. 環境認識

2. 2018年3月期通期の実績

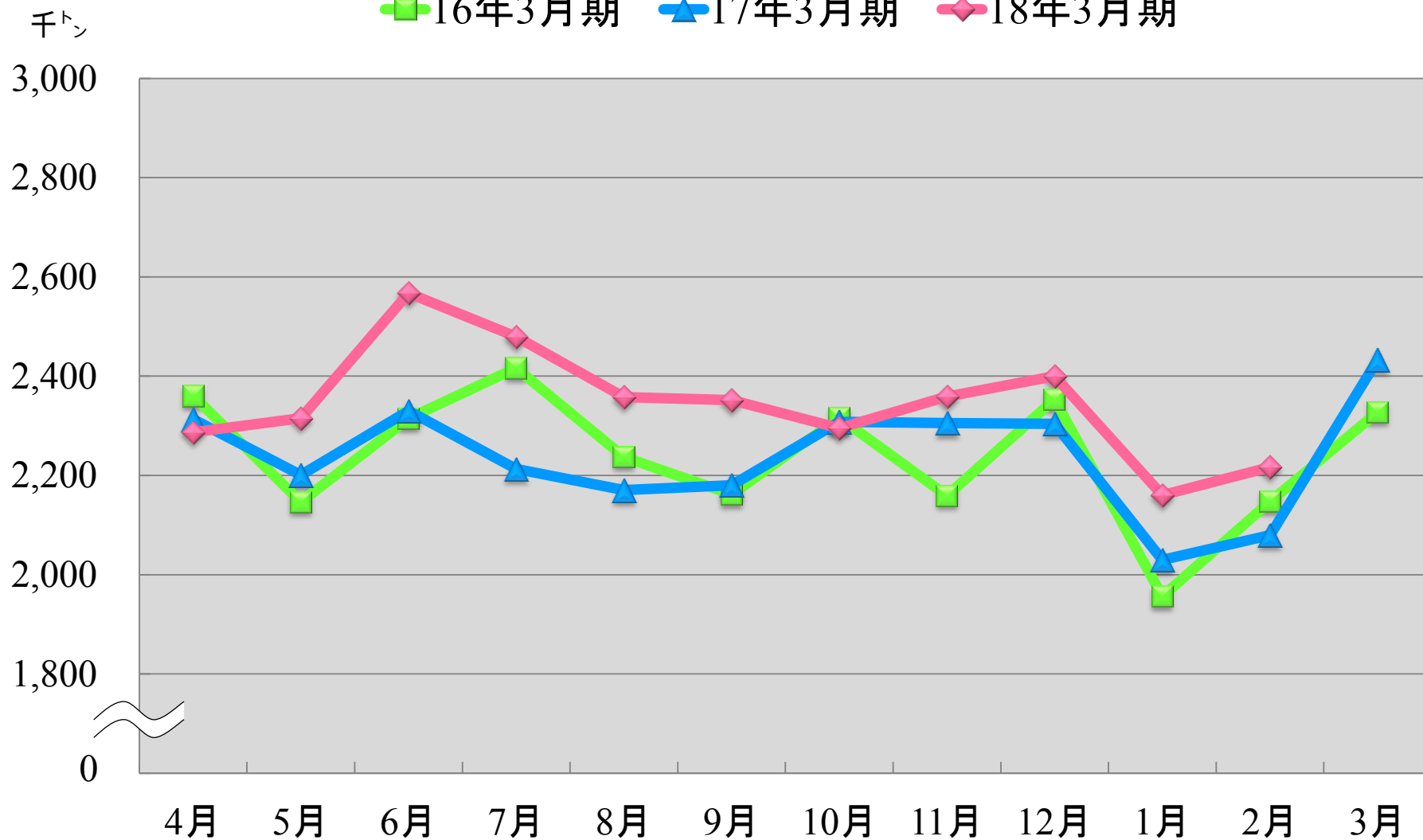
3. 2019年3月期通期の見通し

1. 環境認識

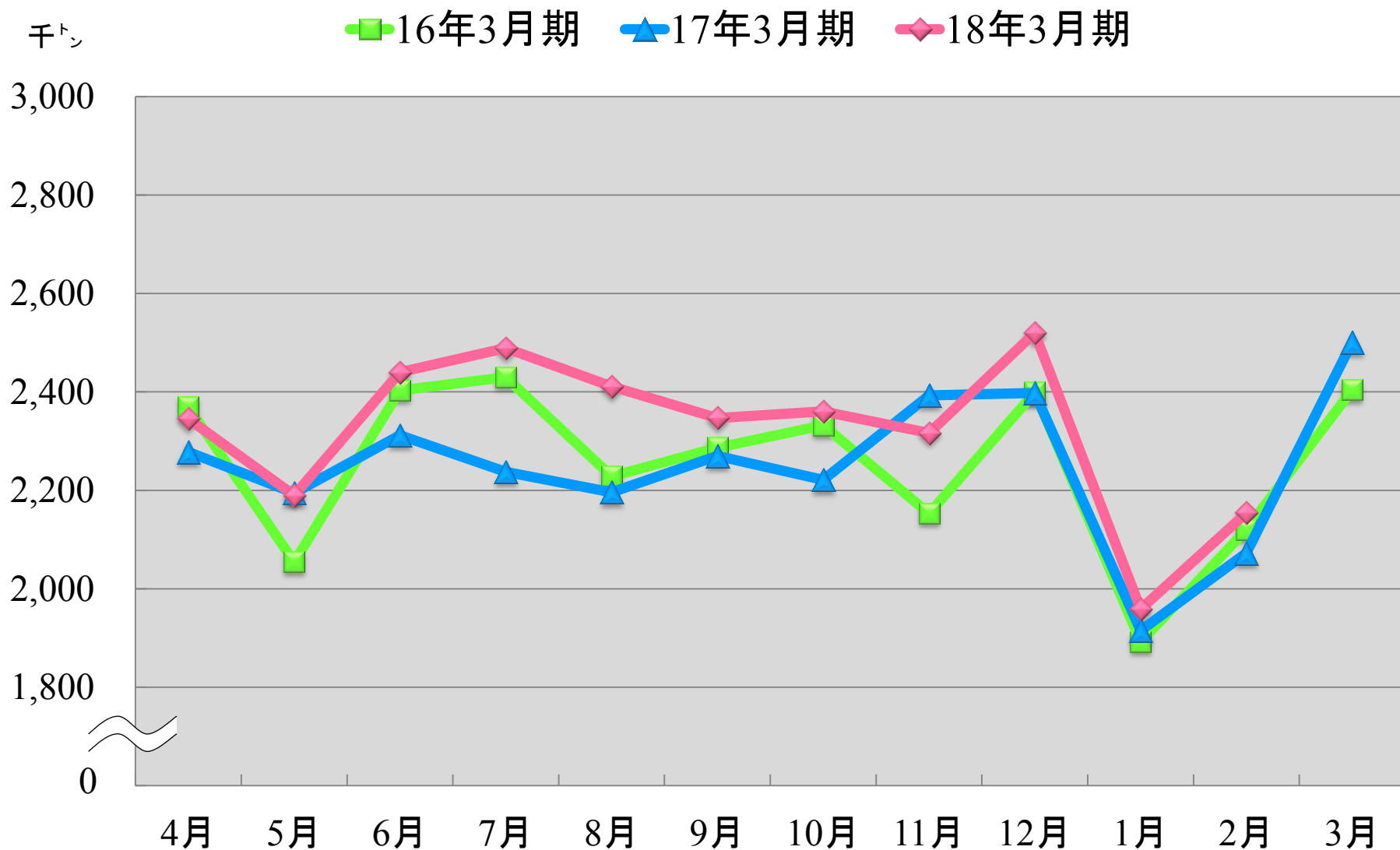
普通倉庫 2 1 社統計 入庫高



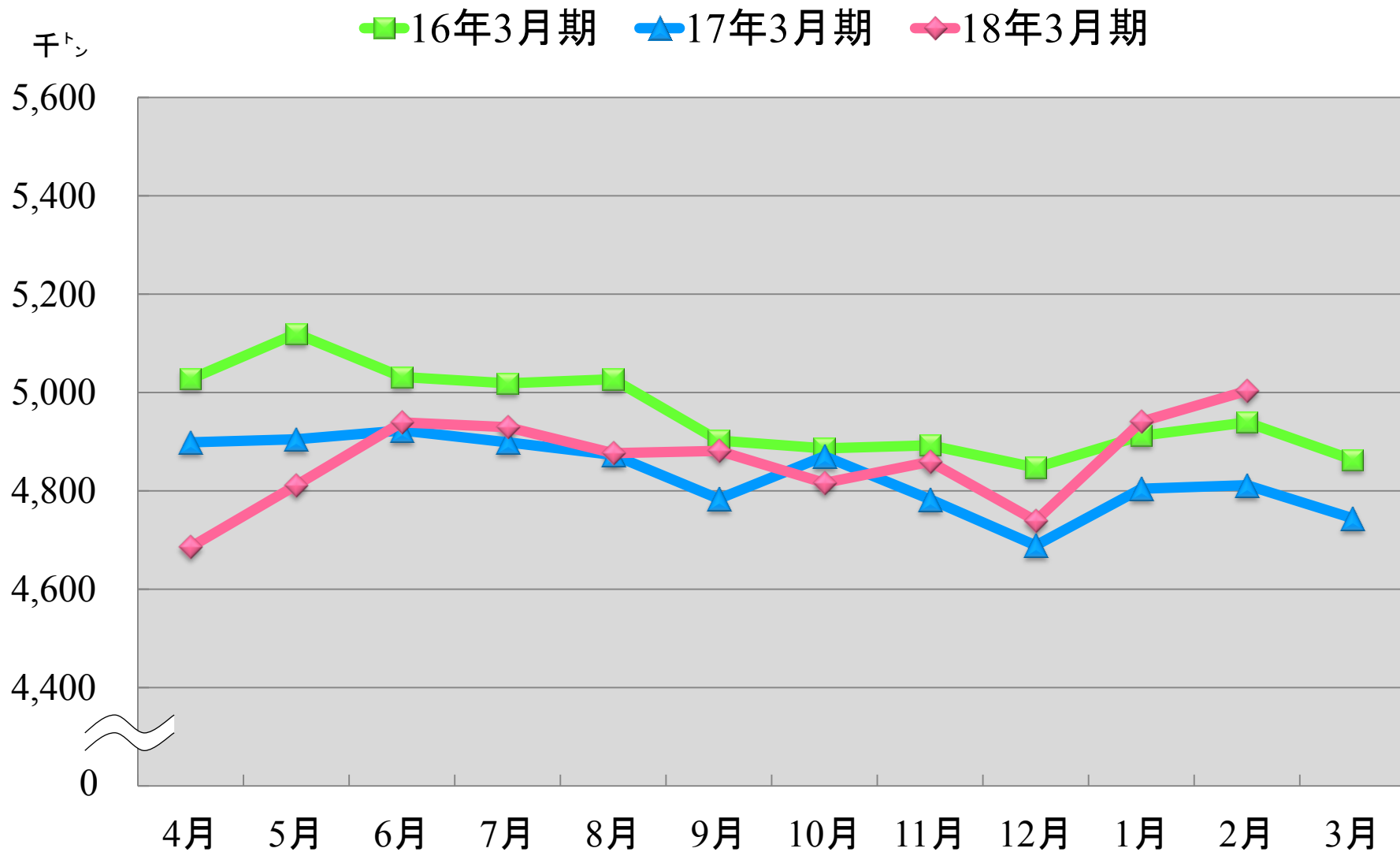
■ 16年3月期 ▲ 17年3月期 ◆ 18年3月期



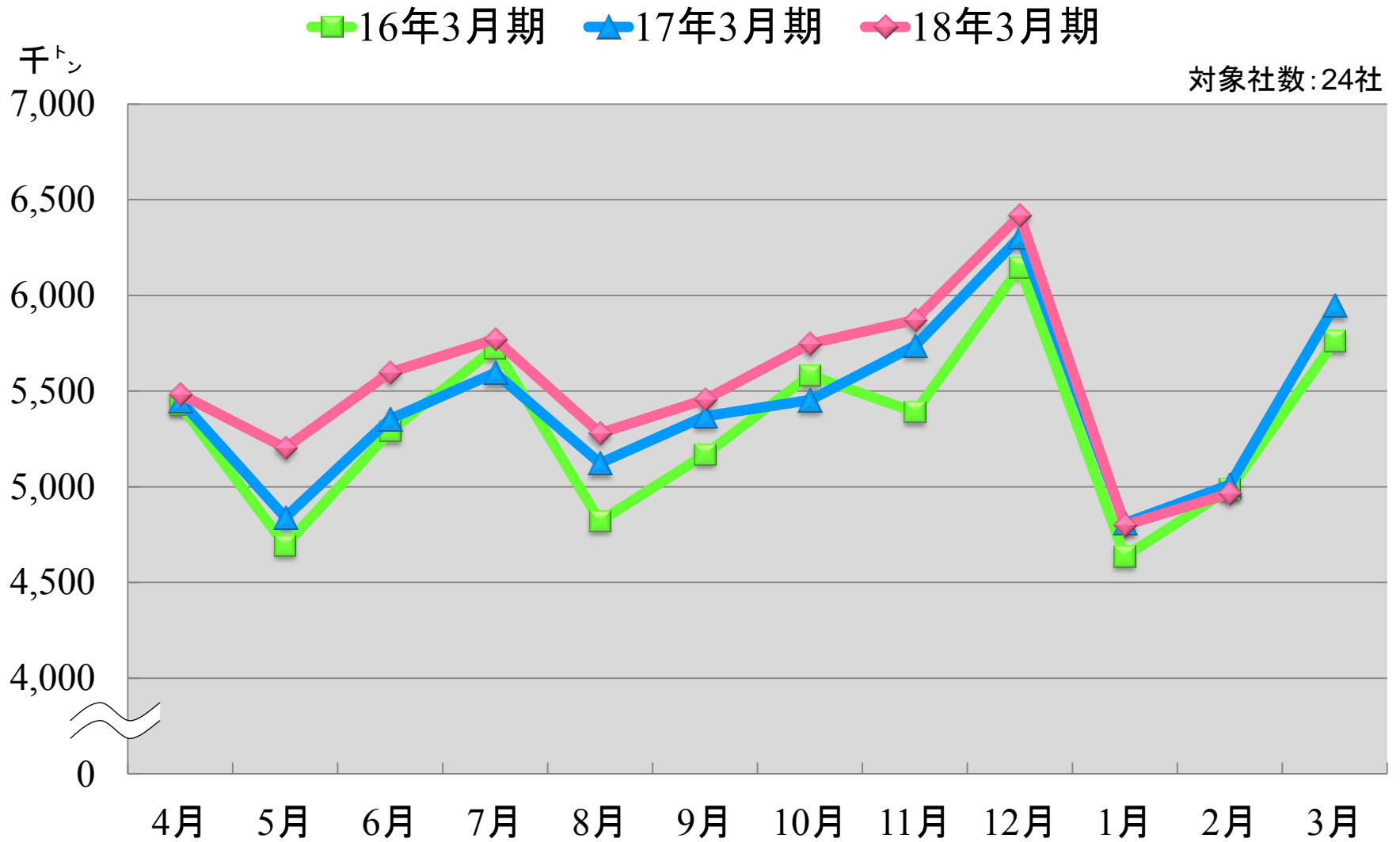
普通倉庫 2 1 社統計 出庫高



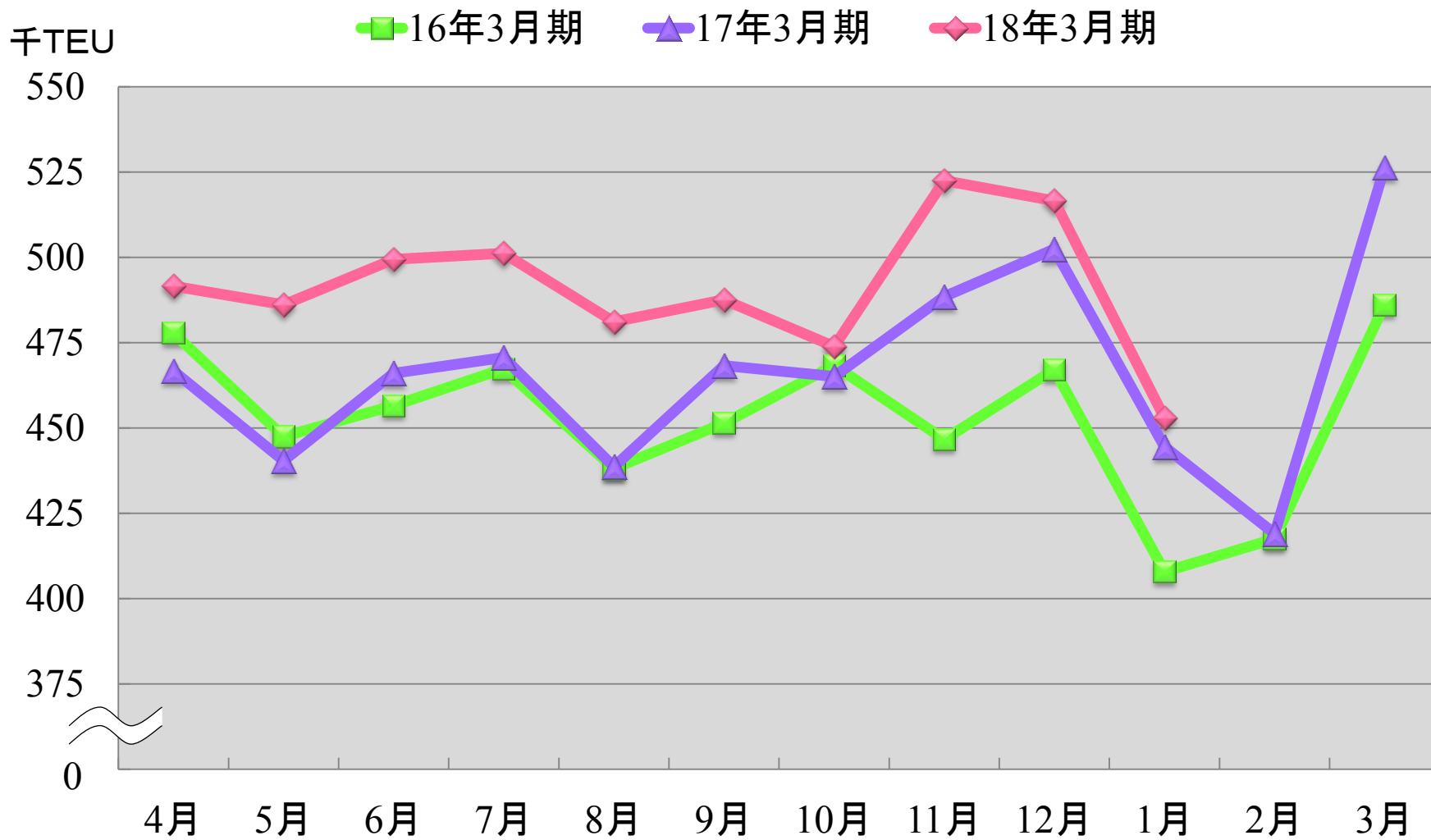
普通倉庫 2 1 社統計 保管残高



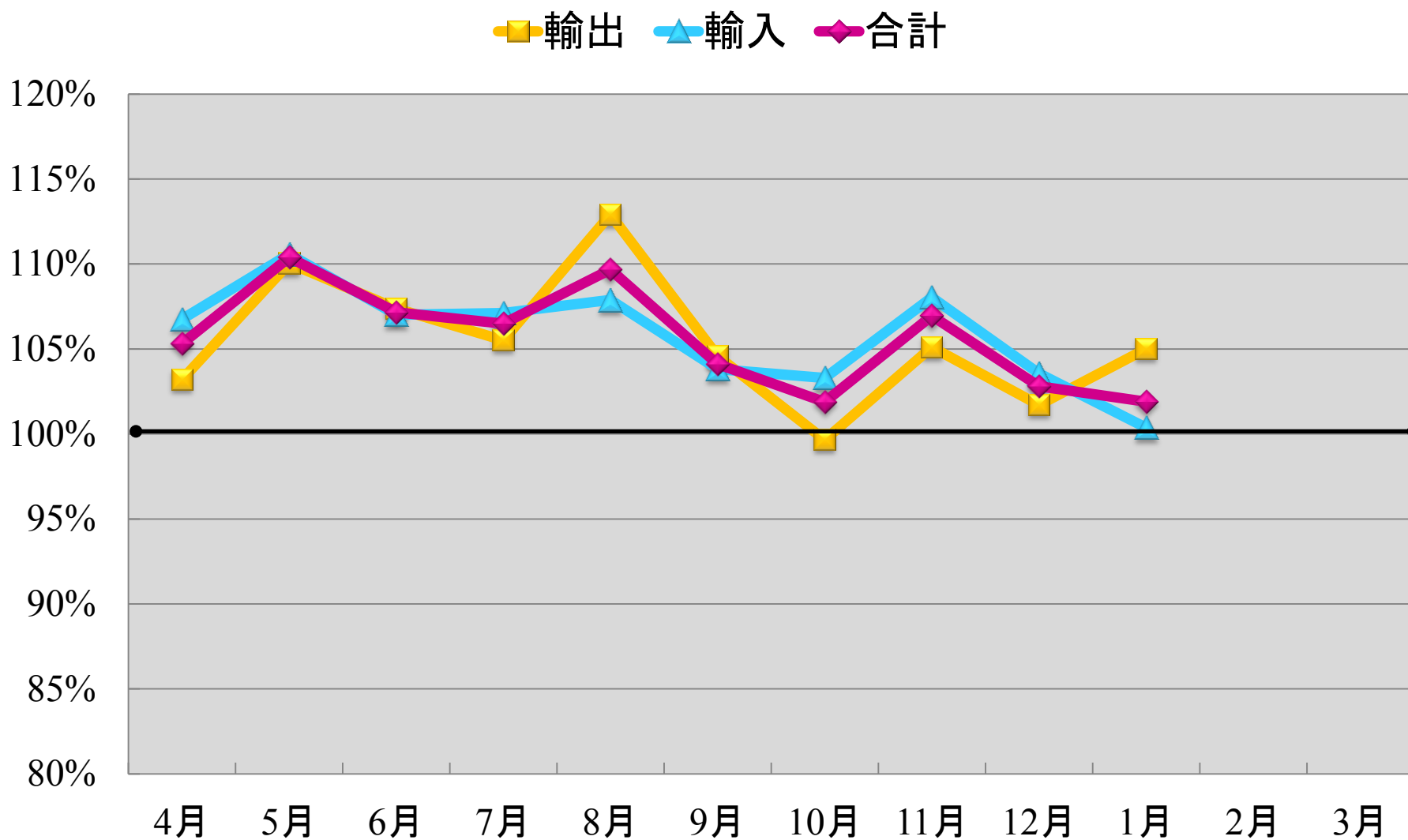
特積貨物輸送トン数



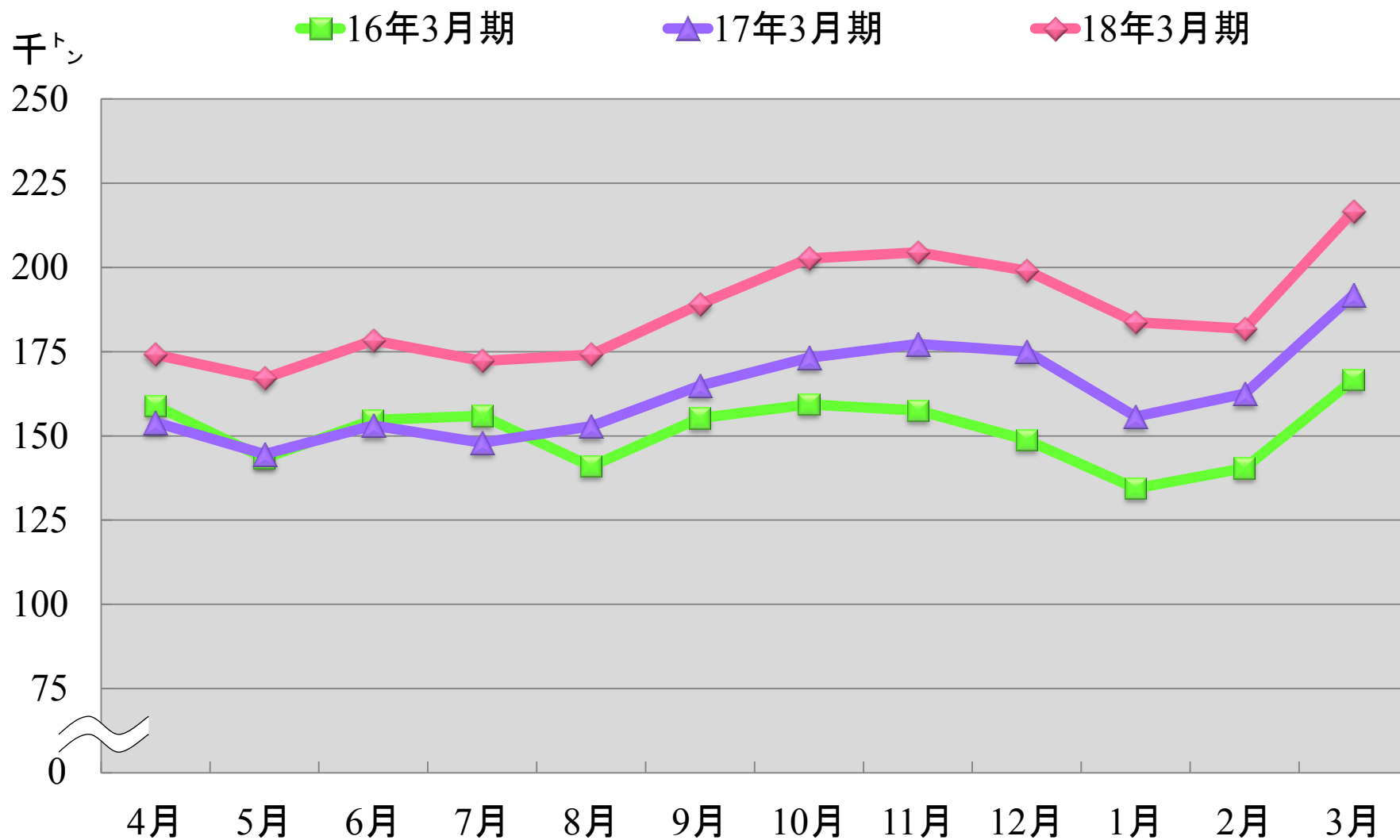
コンテナ取扱本数（京浜港） 輸出入合計



コンテナ取扱本数（京浜港） 前年同月比



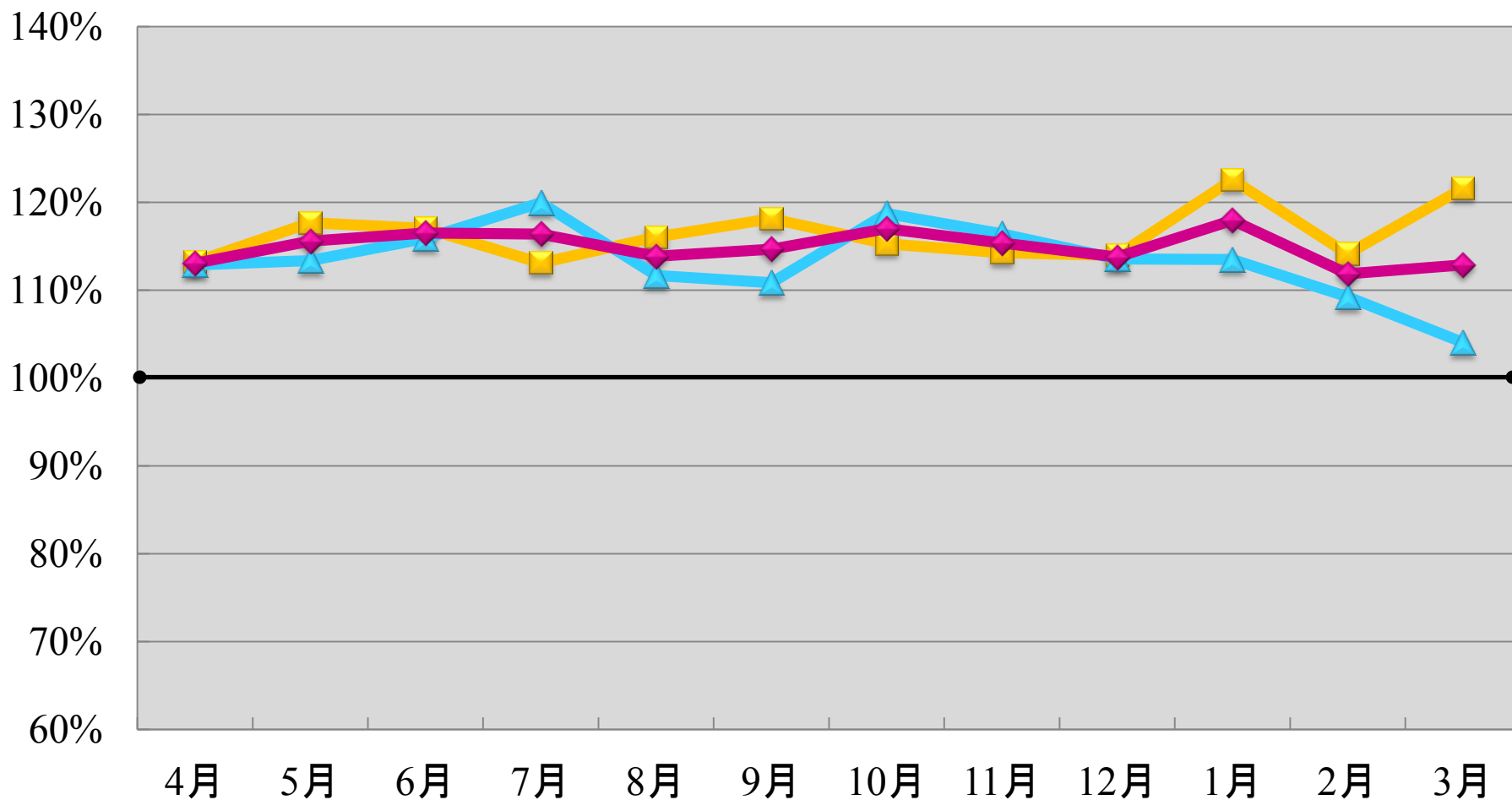
国際航空貨物取扱量 輸出入合計

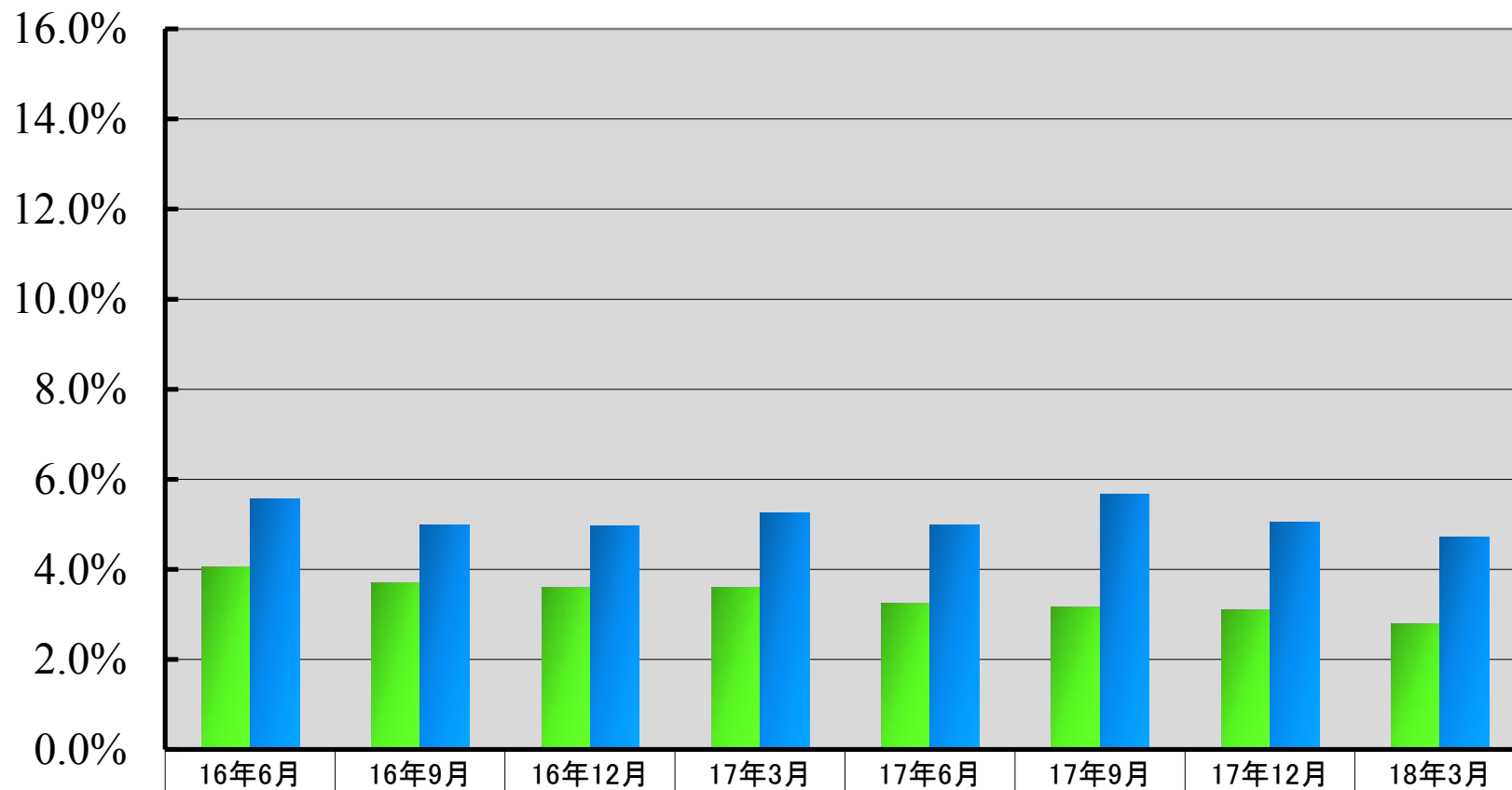


国際航空貨物取扱量 前年同月比



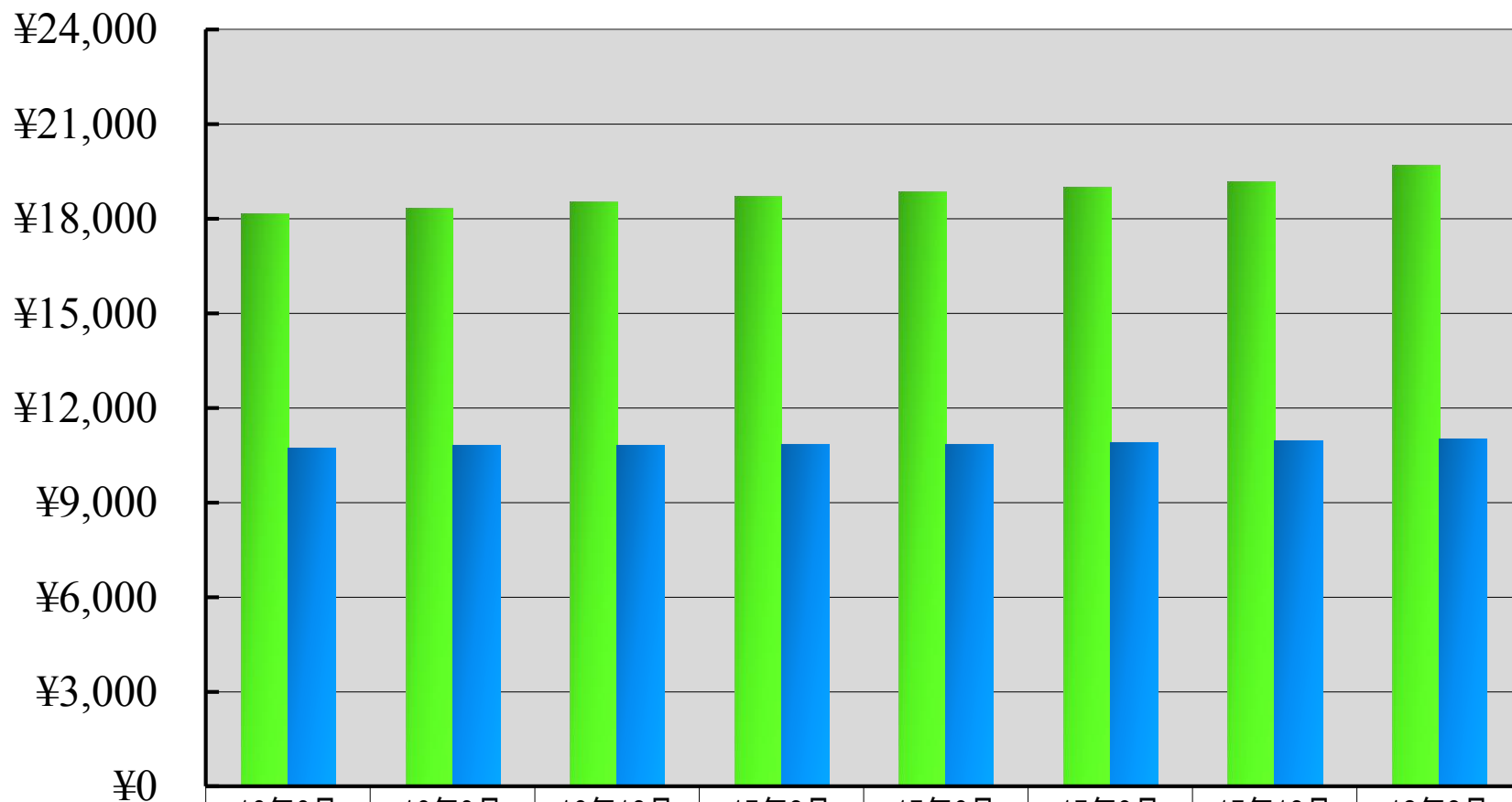
■ 輸出 ▲ 輸入 ◆ 合計





東京ビジネス地区	4.1%	3.7%	3.6%	3.6%	3.3%	3.2%	3.1%	2.8%
横浜ビジネス地区	5.6%	5.0%	5.0%	5.3%	5.0%	5.7%	5.1%	4.7%

募集賃料相場（円／坪）



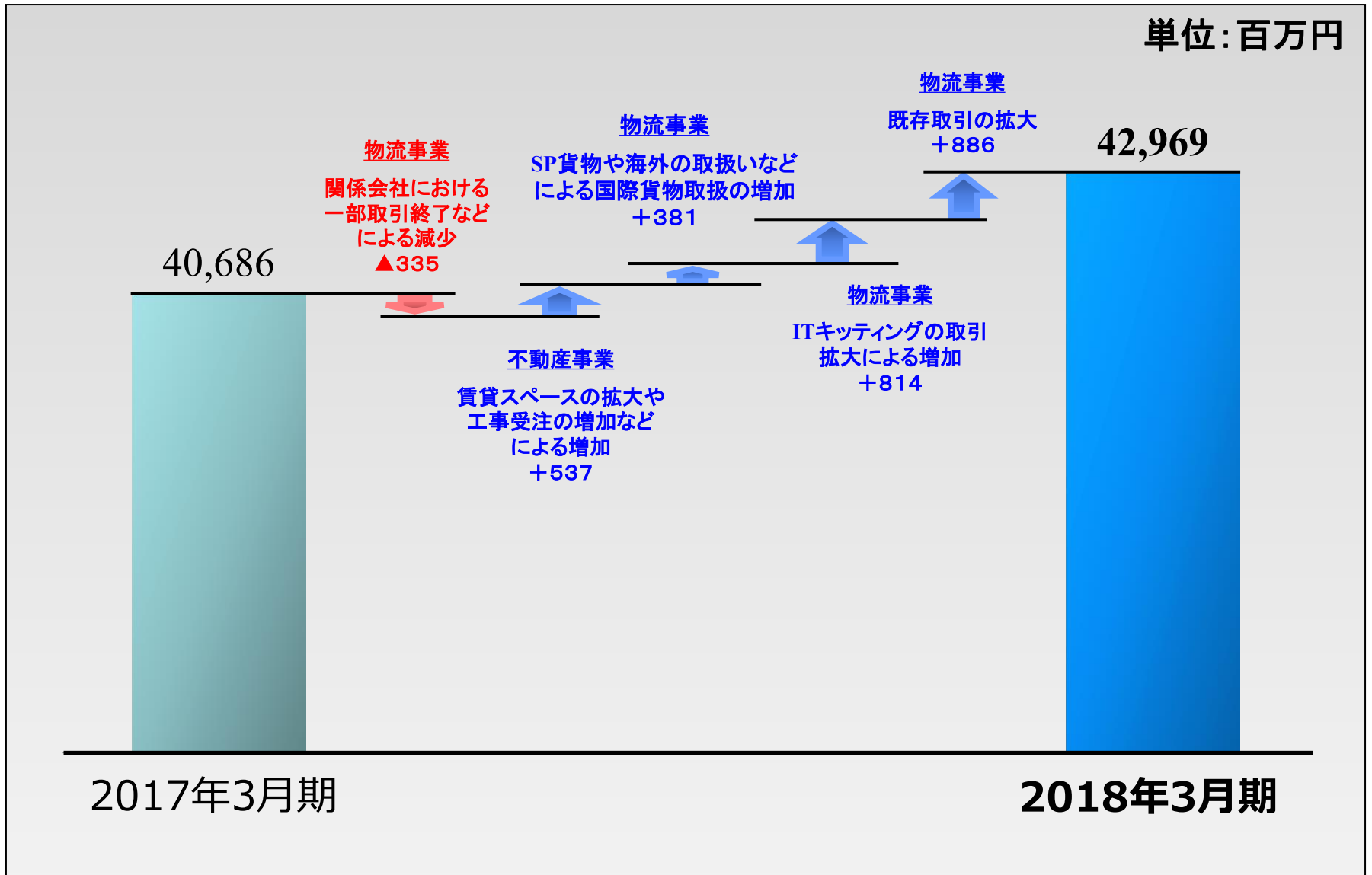
■東京ビジネス地区	¥18,179	¥18,336	¥18,540	¥18,730	¥18,864	¥18,995	¥19,173	¥19,699
■横浜ビジネス地区	¥10,731	¥10,809	¥10,813	¥10,849	¥10,846	¥10,917	¥10,965	¥11,016

2. 2018年3月期通期の実績

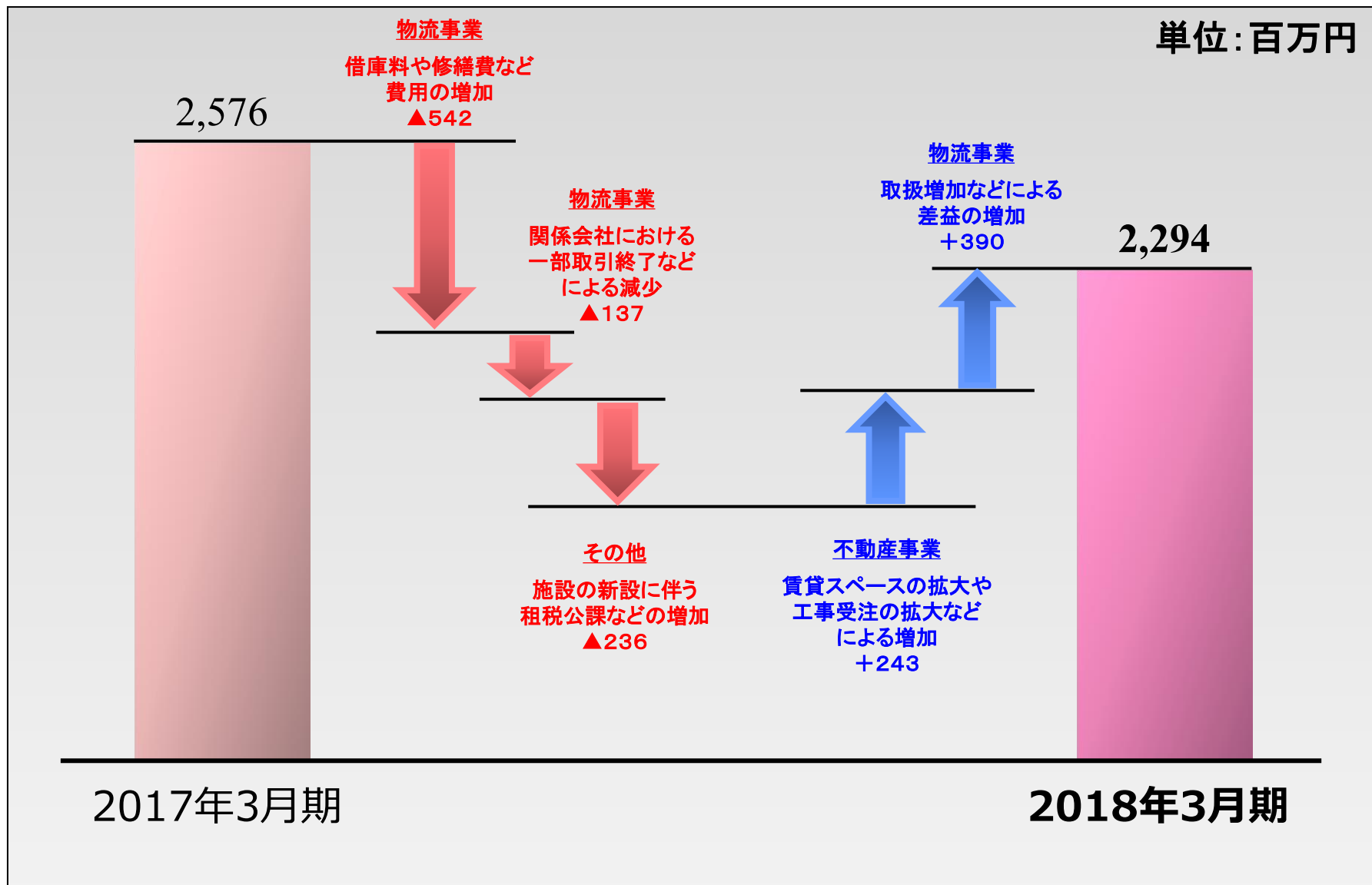
単位：百万円

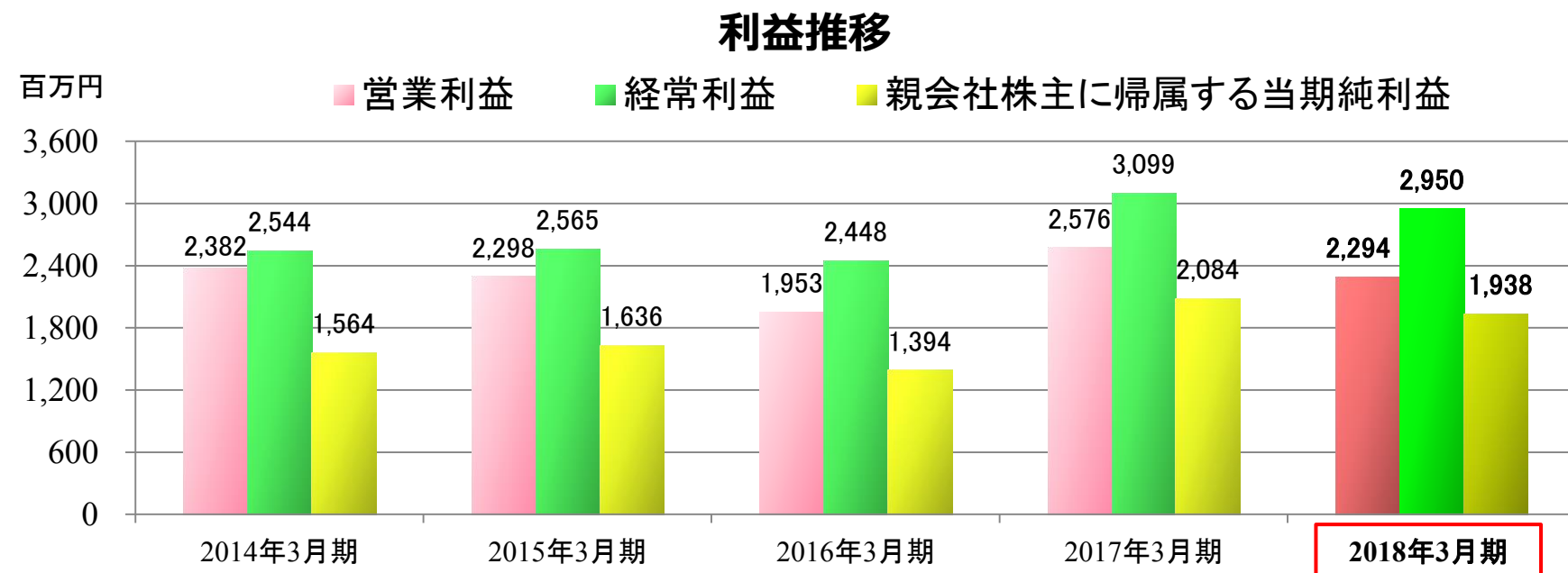
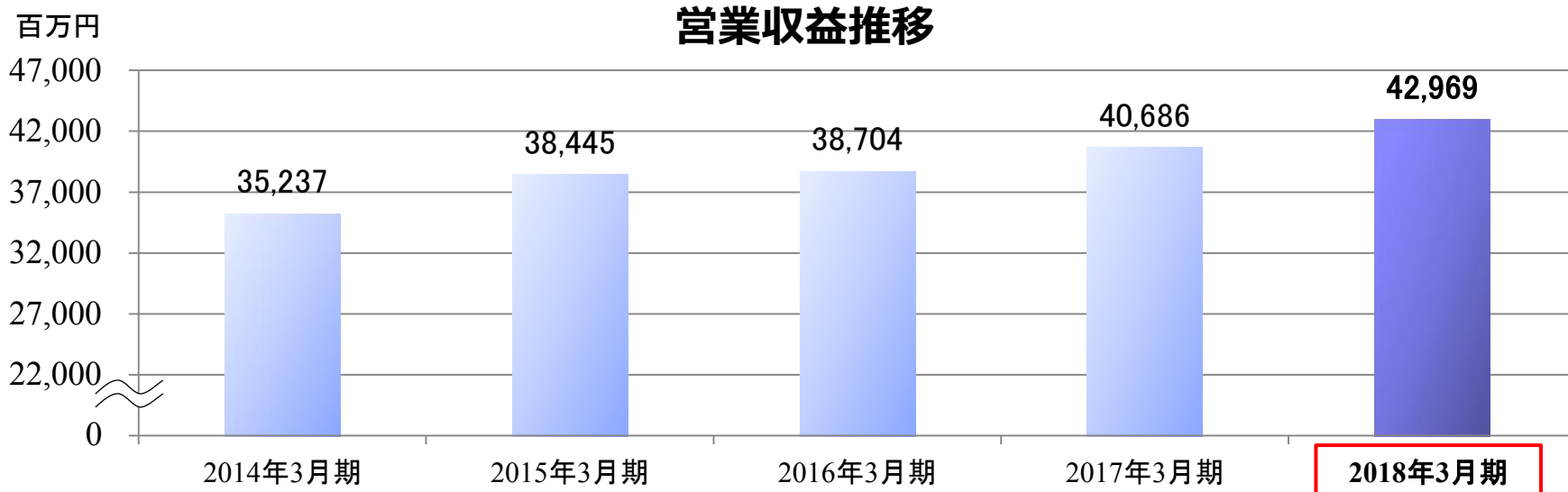
前年同期対比	連結		前年同期比		予想比
	17/03期	18/03期	増減額	増減率	増減率
営業収益	40,686	42,969	2,283	5.6%	0.6%
営業利益	2,576	2,294	▲281	▲10.9%	24.0%
経常利益	3,099	2,950	▲148	▲4.8%	22.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,084	1,938	▲145	▲7.0%	21.1%
営業収益営業利益率	6.3%	5.3%	▲1.0pt	—	—
1株当たり当期純利益 (円)	68.84	65.73	▲3.11	▲4.5%	—
総資産	109,156	120,327	11,171	10.2%	
純資産	61,188	66,265	5,076	8.3%	
自己資本比率	55.8%	54.9%	▲1.0pt	—	
1株当たり純資産(円)	2,065.76	2,246.02	180.26	8.7%	

営業収益の主な変動要因



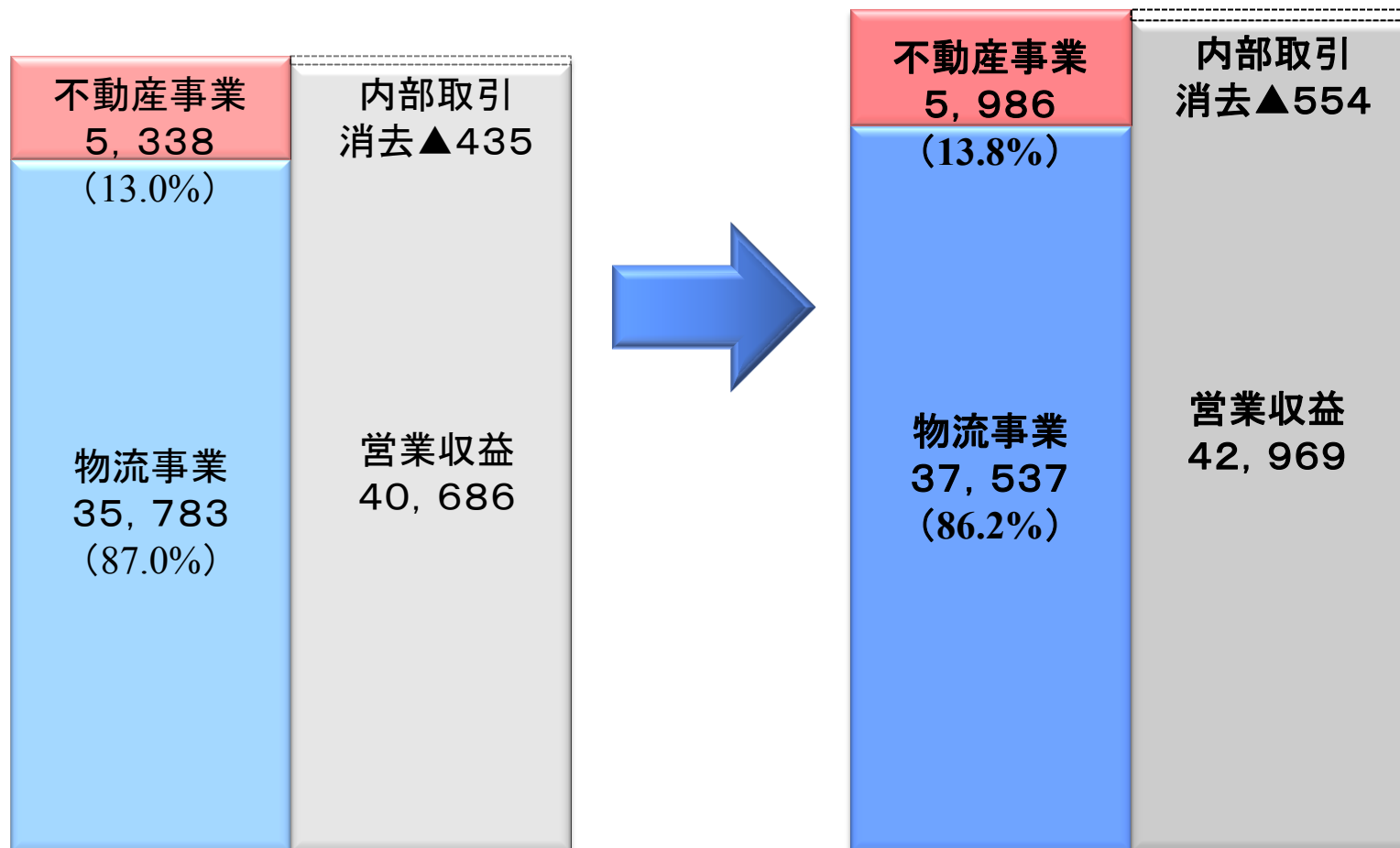
営業利益の主な変動要因





セグメント別営業収益

単位:百万円
()内は構成比

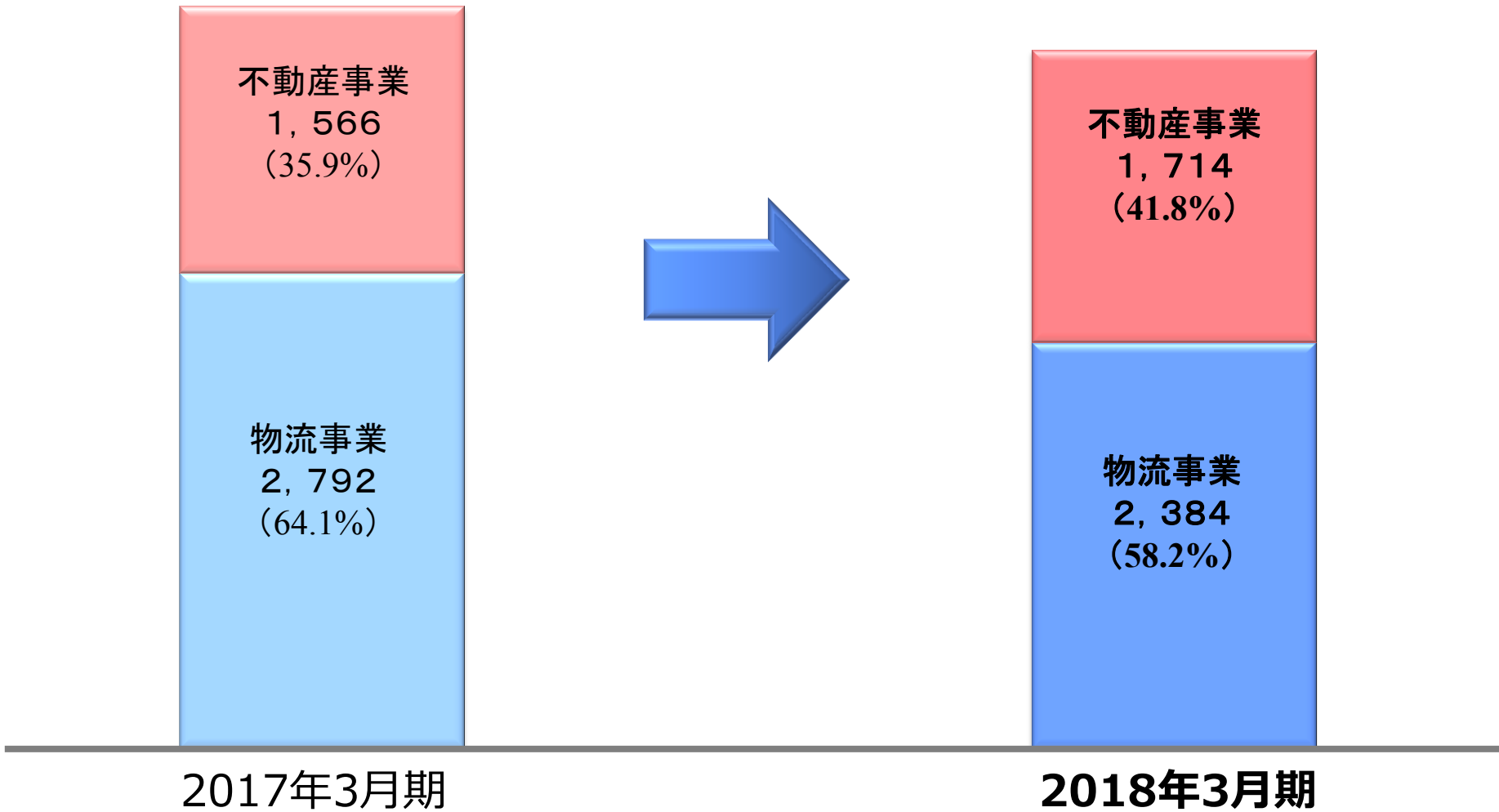


2017年3月期

2018年3月期

セグメント別営業利益

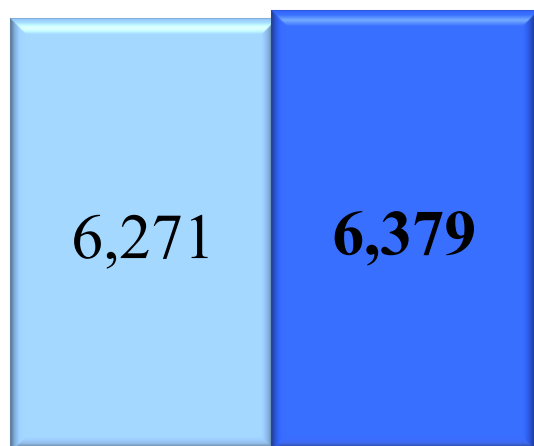
単位：百万円



単位：百万円

保管料

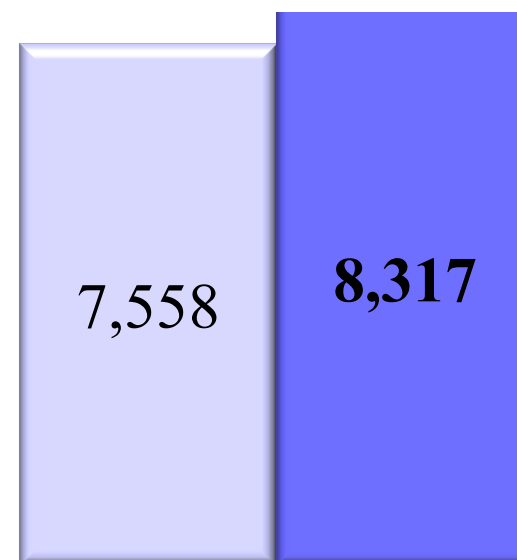
■ 17/03期 ■ 18/03期



既存顧客との取引拡大などにより前期比増収

倉庫作業料

■ 17/03期 ■ 18/03期

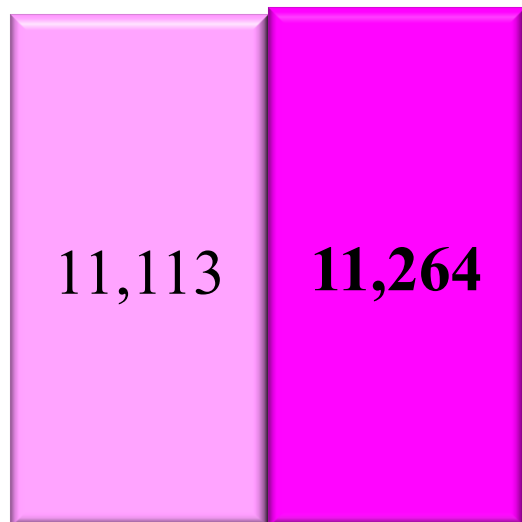


キittingの受注拡大や既存顧客の取引拡大などにより前期比増収

単位：百万円

陸運料

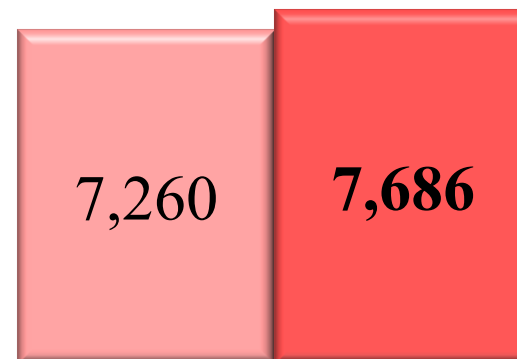
■ 17/03期 ■ 18/03期



広域輸送業務の減少があるも、既存取引拡大などにより前期比増収

国際貨物取扱料

■ 17/03期 ■ 18/03期

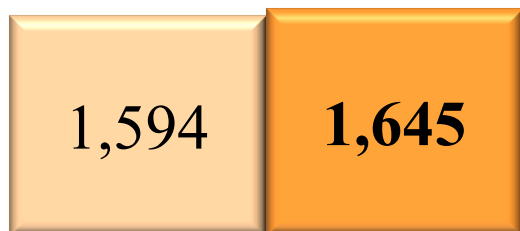


S P 貨物取扱の増加や海外取扱増加により前期比増収

単位：百万円

物流賃貸料

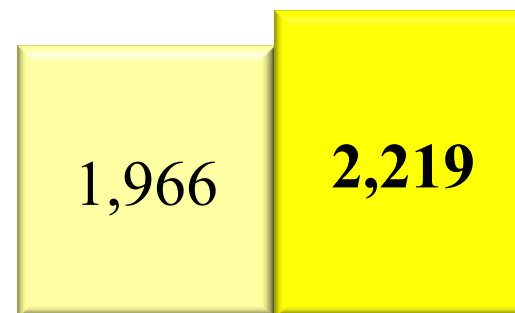
■ 17/03期 ■ 18/03期



新規顧客獲得により前期比増収

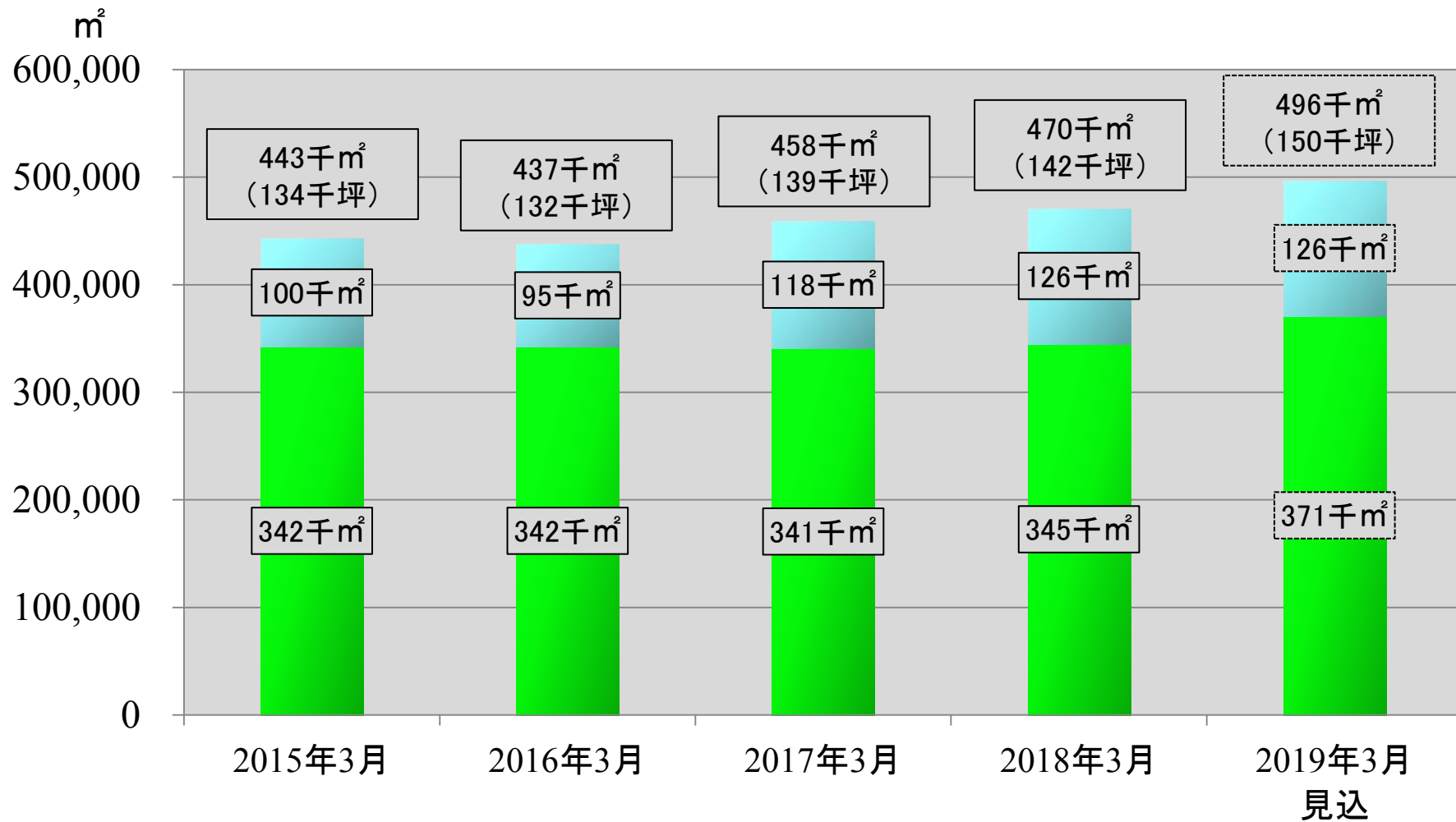
その他(物流)

■ 17/03期 ■ 18/03期



キitting関連業務の取扱増加により前期比増収

■ 所有 ■ 賃借



九州営業所・平和島営業所第二倉庫開設

- ◆名称：九州営業所
- ◆所在：福岡県三井郡大刀洗町
大字高樋1708番地4

- ◆名称：平和島営業所第二倉庫
- ◆所在：東京都大田区平和島3丁目2番12号

◆延床面積：約5,500坪

◆延床面積：約2,700坪



(倉庫外観)



(倉庫外観)

中国(上海)1号倉庫開設・2号倉庫着工

◆所在	上海市青浦区青浦工業園区新枝路66号	
◆敷地面積	約11,550坪	
	1号倉庫	2号倉庫
◆延床面積	約2,830坪	約7,850坪
◆主要構造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造
◆階数	1階、一部2階(事務所)	3階
◆スケジュール	平成29年2月竣工 平成29年4月開設	平成29年9月着工 平成30年7月竣工予定



(1号倉庫外観)



(2号倉庫イメージ図)

インドネシア現地法人を開設

◆名称：PT. YASUDA LOGISTICS INDONESIA

◆所在：
インドネシア共和国 ジャカルタ市

◆事業目的：
国際フォワーディング業、通関業

◆設立日：
2017年12月

◆出資比率：
安田倉庫株式会社 (67%)
PT. Multisarana Bahteramandiri (33%)



(外観)

1. 新規取引の開始

- (1) 給湯・暖房機器の保管/配送業務 . . . 九州営業所
- (2) 服飾店舗用什器の保管業務 . . . 大黒営業所
- (3) 物流機械部品の保管業務 . . . 中国上海
- (4) 医療機器の保管/配送業務 . . . 柏営業所

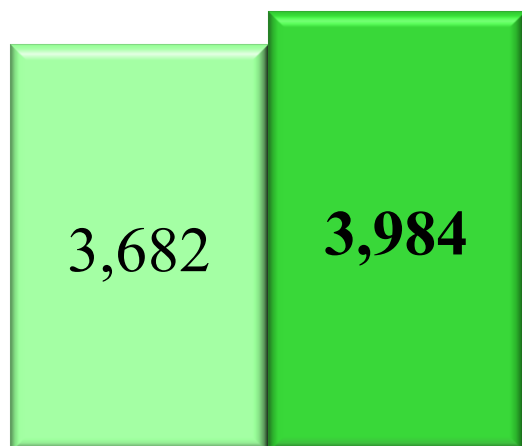
2. 既存取引の拡大

- (1) キッチンング業務拡大 . . . I Tキッチンングユニット
- (2) 飲料用容器の保管/配送業務 . . . 茨木営業所
- (3) 加熱式タバコの検品/加工業務 . . . 守屋町営業所
- (4) 健康器具製品の保管業務 . . . 大阪営業所
- (5) 大型設備の国際輸送業務 . . . 国際輸送センター

単位：百万円

不動産賃貸料

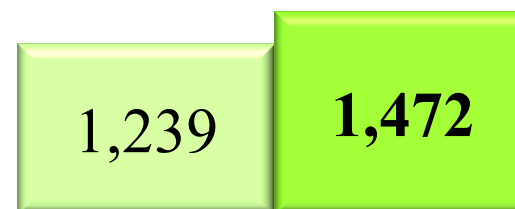
■ 17/03期 ■ 18/03期



賃貸スペースの拡大や商業施設ビル稼働により前期比増収

その他(不動産)

■ 17/03期 ■ 18/03期



LED工事ほか工事の受注増加などにより前期比増収

第7安田ビル竣工

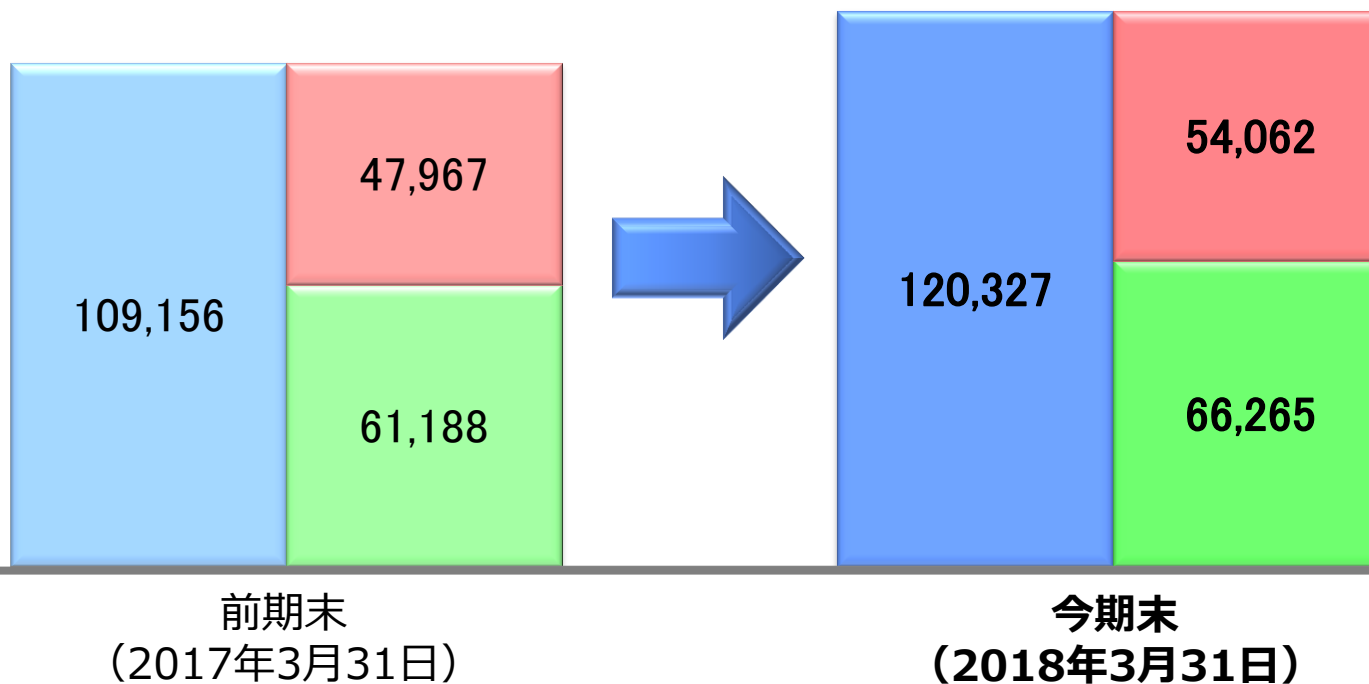
- ◆ 所 在：横浜市神奈川区鶴屋町
(横浜駅西口徒歩3分)
- ◆ 敷地面積：約500坪
- ◆ 施設構成：ホテル、商業施設
- ◆ 延床面積：約3,000坪
 - ・ ホテル部分 約2,180坪
 - ・ 商業施設部分 約620坪
- ◆ 建物規模：
 - 地下1階 (鉄筋コンクリート造)
 - 地上13階 (鉄骨造)



(外観)

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 負債

単位：百万円



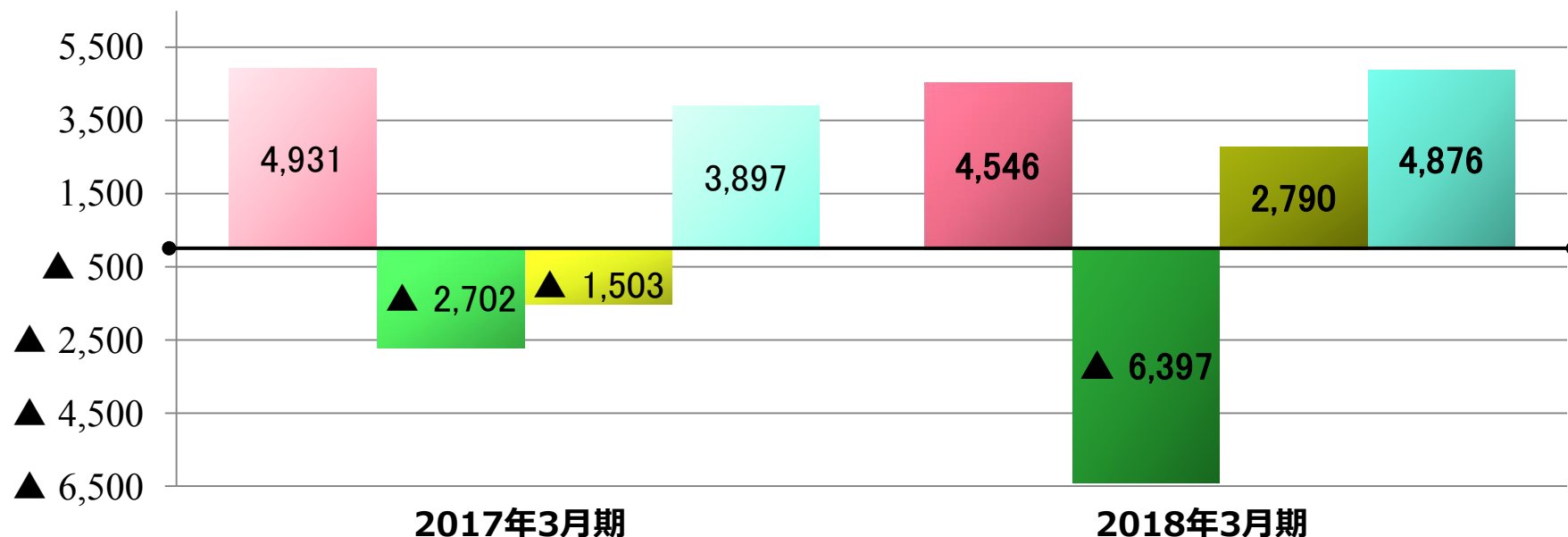
主な増減要因(対前期比)

- ◆ 総資産：有形固定資産 (+3,703百万円)
投資有価証券の時価増加 (+4,947百万円)
- ◆ 負債：長期借入金 (+4,151百万円)
- ◆ 純資産：利益剰余金の増加 (+1,525百万円)
その他有価証券評価差額金 (+3,404百万円)

連結キャッシュフローの状況

■ 営業活動CF
 ■ 投資活動CF
 ■ 財務活動CF
 ■ 現金及び現金同等物の期末残高

単位：百万円



主な増減要因(対前期比)

- ◆ 営業活動CF：法人税等の支払額の増加（▲546百万円）
- ◆ 投資活動CF：有形固定資産の売却による収入の減少（▲2,930百万円）
- ◆ 財務活動CF：借入金の増加（+3,726百万円）

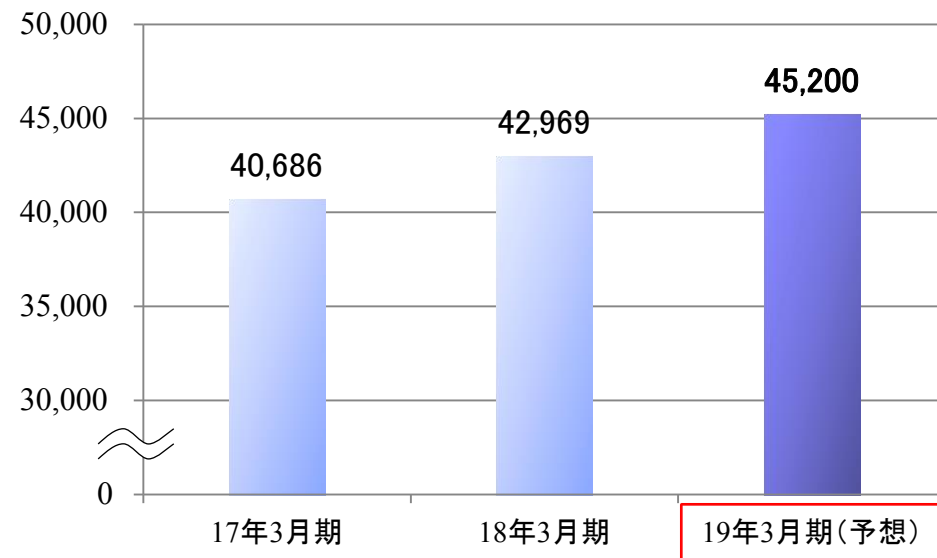
単位:百万円

	17/03期	18/03期	19/03期 (予想)
設備投資額	6,055	6,164	4,700
主な投資案件	<u>18/03期</u> ・第7安田ビル建設 ・倉庫施設新設関連投資 (九州、上海) ・既存施設の設備更新 など		<u>19/03期</u> ・上海2号倉庫関連 ・既存施設の整備関連 (大黒、MAC1) ・既存施設の設備更新 など
減価償却費	2,402	2,387	2,681
期末借入金残高	24,777	28,096	27,238

3. 2019年3月期通期の見通し

営業収益

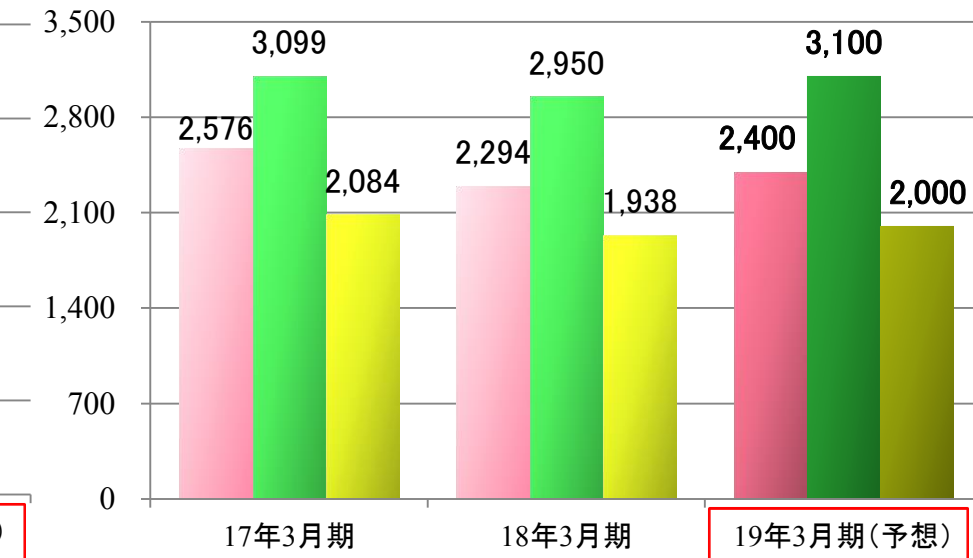
単位：百万円



単位：百万円	前期比	
	増減額	増減率
営業収益	2231	5.2%

営業利益 経常利益 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



単位：百万円	前期比	
	増減額	増減率
営業利益	106	4.6%
経常利益	150	5.1%
当期純利益	62	3.2%

・ 新規施設の稼働に伴う新規顧客の獲得、取引の拡大により増収増益を見込む

- ◆九州域内のビジネス拡大
- ◆配送ネットワークの拡大
- ◆メディカル物流の拡大
(MBU東京物流センター、九州営業所の活用)
- ◆ITキッティングの拡大
- ◆大型資材・機材輸送案件の獲得
- ◆インドネシア現地法人の営業推進
- ◆上海青浦倉庫(2号倉庫)への顧客誘致

<配当方針>

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2015年3月期	年間配当14円	(連結配当性向26.0%)
2016年3月期	年間配当14円	(同30.5%)
2017年3月期	年間配当14円	(同20.3%)
2018年3月期	年間配当14円	(同21.3%)
2019年3月期	配当水準維持予定	

年間配当14円予定

(中間配当：7円、期末配当：7円)

お客様を支える存在になる為に

**「中期経営計画2018」
お客様のビジネスをサポートする
グローバルな物流会社**

課題解決にスピーディーに応える
ソリューション提案型営業の徹底

お客様に潜在するロジスティクス・
ニーズをいち早くキャッチ

「品質」と「生産性」の向上

YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。